

## ムク天井板の羽重差刃加工案内書

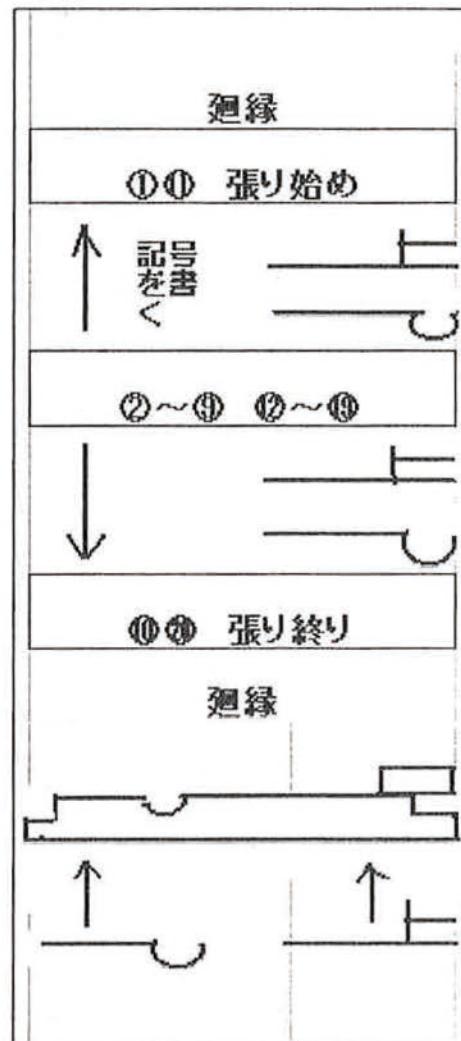
羽重天井板の張り方は、天井板の刃は部屋の入口に向け、次の間あるいは下手から見える様に張り出すのが普通で、天井板を長手に継ぐ場合は、杁目が連続して見える様に杁目を合わせて張り、又竿縁は床先しにならない様に心掛けると良い。

関西では、板幅は一般的に10畳間では1尺6寸、8畳間では1尺3寸、6畳間では1尺1寸が多く使用されますが、床の間の位置により、竿縁も異なり、6畳間では台目(4尺8寸)の長さの天井板も使用できますので、それらを考え合せれば、美しく上品に、かつ効率良く仕上げる事が出来ます。

天井板の床の間に対する竿縁の長さと本数又天井板の長さ幅と枚数

床の間										床脇										押入																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	8畳										6畳									
8畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳							
8畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳									
8畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳		6畳									

8畳	竿縁	4000×30角	7	本
	天井	1940×400	20	枚
6畳	竿縁	3000×30角	7	本
	天井	1940×330	18	枚
6畳	竿縁	4000×30角	5	本
	天井	1480×400	20	枚



張り始め・張り終わり板巾①⑩⑪⑫

中板②～⑨ ⑫～⑯の板巾

大阪銘木団地 ムク天井板問屋（常備在庫豊富）

大阪府攝津市鳥飼銘木町15-1

TEL 0726-54-5941

FAX 0726-54-5965

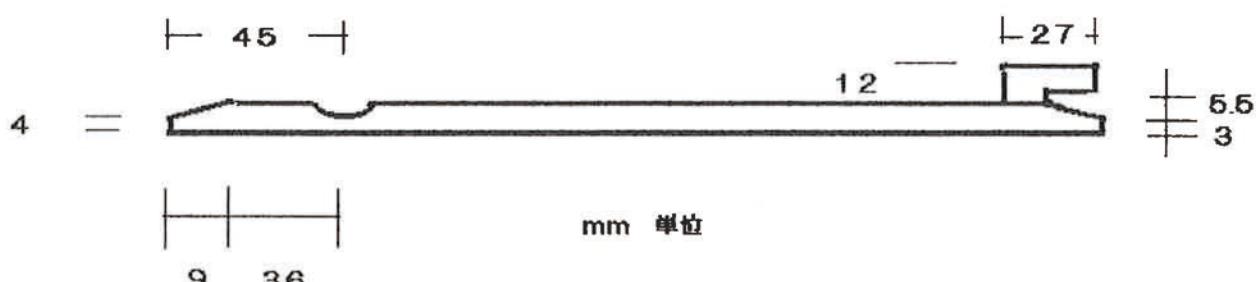
(株) 銘木 辻吉

# ムク天井板差刃加工案内書

## (1) ムク天井羽重加工仕上げ

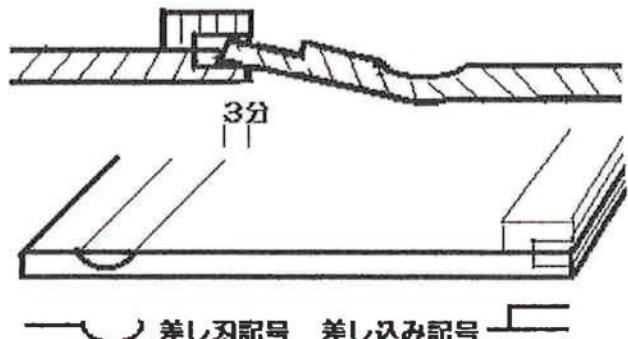
削り加工—柵出ししうづくり加工—裏桟差刃加工—反丸溝加工

\*加工板寸法制限 長さ 3尺～2間 以下 幅2尺以下 厚み2分3厘



## (2) 加工依頼手順

\*板の重なる部分3分を計算に入れて下さい



尚、高額商品ですので加工ミスを防ぐ為、御面倒ですが当社へ来社の上ご指示下さい。

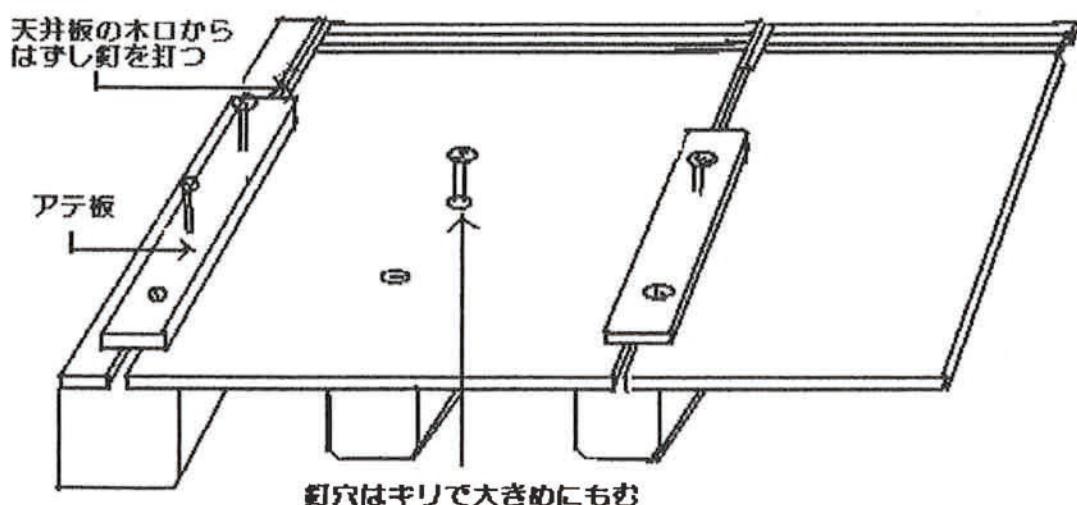
## (3) 施工上の注意

廻縁、板のツナギ部分は、当て板（ベニヤでも可）をして、当て板に釘を打っておさえる。

(天井板の木口に直接釘を打たないで下さい)

竿縁に釘を打って板を止めますが、その場合キリ等で多少大きめの穴を開けて下さい。

差刃が少々厚くて溝に入りにくい時は、刃の部分をお手数ですが削り落として下さい。

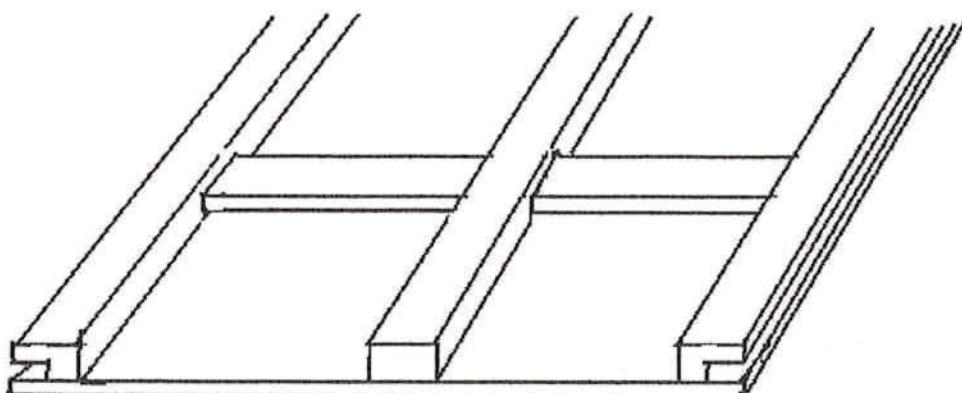


# ムク天井板目透加工案内書

## (1) ムク天井板目透加工

削り加工—柾出しうづくり加工—裏桟加工（横桟は動く）

\*加工板寸法制限 長さ 3間～3尺以下 幅3尺以下



輻桟3本はノリ付け 横桟はノリ付け無い為動く

## (2) 加工依頼手順

廻縁の内々の寸法を測り、目透し幅を決め（2分～3分）板幅を割だします。

天井板の張り始めから張り終わりまでの順番を決めます。

両木端の寸法を決め、両端は片木端で少し幅を広くします。

## (3) 施工上の注意点

廻縁に釘を打って板を止めますが、その場合キリ等で多少大きめの穴を開け、捨て板の上から板を釘打ちし、板が収縮出来る様お願いします。

## (4) 参考

ムク天井板は冷暖房で割れると言われる方がいらっしゃいますが、天井板は原木からの加工段階で、強い日差し・風・温度等により厳しい自然環境の中で、天然乾燥しますので、割れる性質の物はその段階で割れてしまいます。

施工さえ正しい方法で行えば、まず割れる事は有りません、

尚、羽重、目透加工共、高額商品ですので、ミスを防ぐ為必ずご面倒ですが、当社へ来社の上、指図して頂きます様お願い致します。

大阪銘木団地 ムク天井板専門問屋（常備在庫豊富）

株銘木 辻吉

〒566-0063 大阪府摂津市鳥飼銘木町15-17

TEL 0726-54-5941

FAX 0726-54-5965